

# 令和5年度 第1回ゼロカーボン研究会 事後調査報告

## 1. 調査概要

### 1.1. 目的

ゼロカーボン研究会に参加する自治体及び事業者等の研究会へのニーズを調査・分析し、岡山連携中枢都市圏、周辺自治体、事業者及び大学等と「ゼロカーボン社会」実現へ向けた“実現可能な事業創出”につながる研究会及び分科会を開催することを目的とする。

### 1.2. 実施日

2023年5月25日(木) 研究会終了後

### 1.3. 調査対象

令和5年度 第1回ゼロカーボン研究会の参加者46名（自治体20名、事業者・その他26名）を対象にアンケート調査を行った。

### 1.4. 調査方法

アンケート形式は、用紙記入、web記入の回答方法とした。

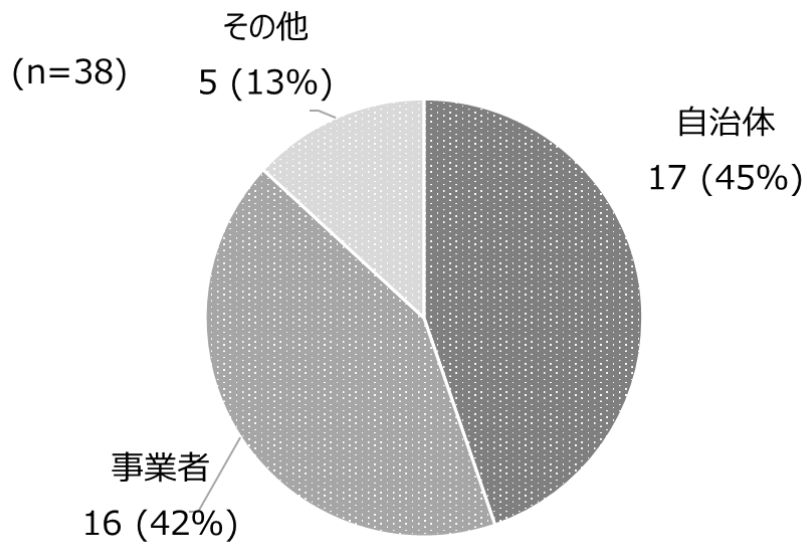
### 1.5. 回収状況

回答数：38件（自治体17件、事業者・その他21件）

回収率：83%（自治体85%、事業者・その他81%）

## 2. アンケート結果

### 1) アンケート回答者の所属区分

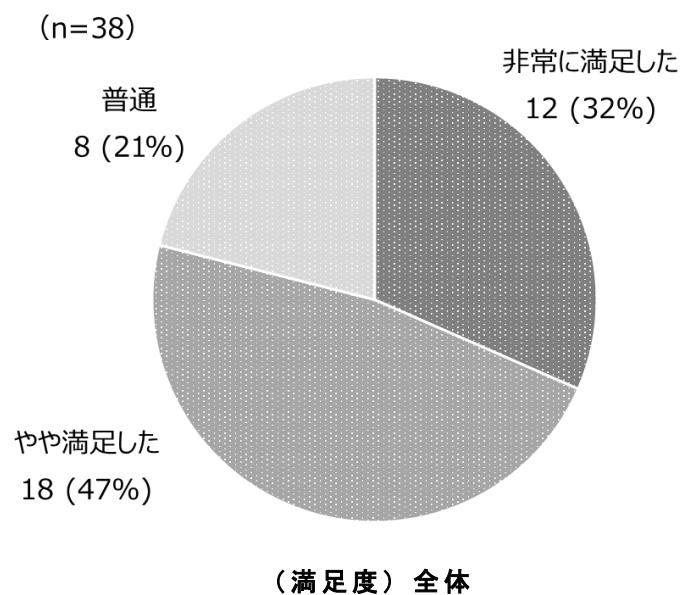


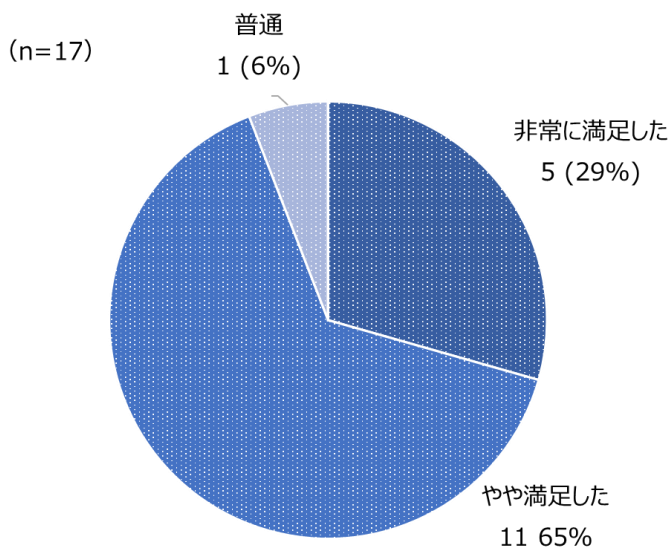
#### 【その他の内容】

- ・ 脱炭素コンサルタント
- ・ その他
- ・ 商工会議所
- ・ リース会社
- ・ 電機メーカー

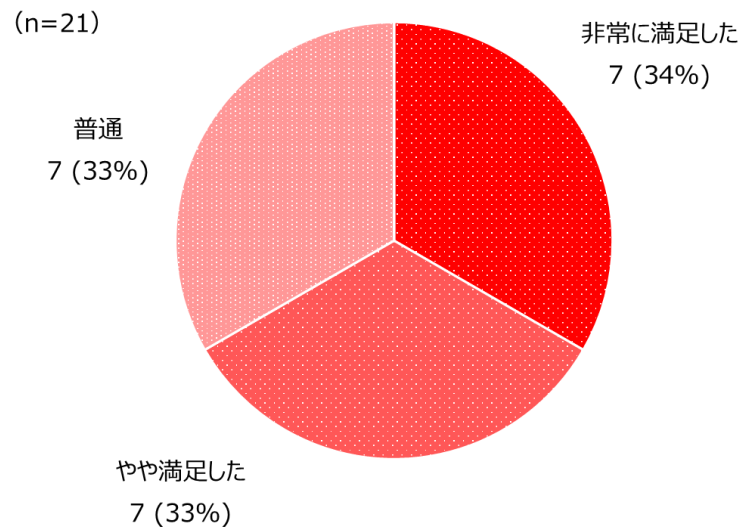
### 2) 今回の研究会に対する満足度を教えてください。

- 全体の満足度は「やや満足した」が最も多く、全体の47%であった。また79%が満足したと回答した。





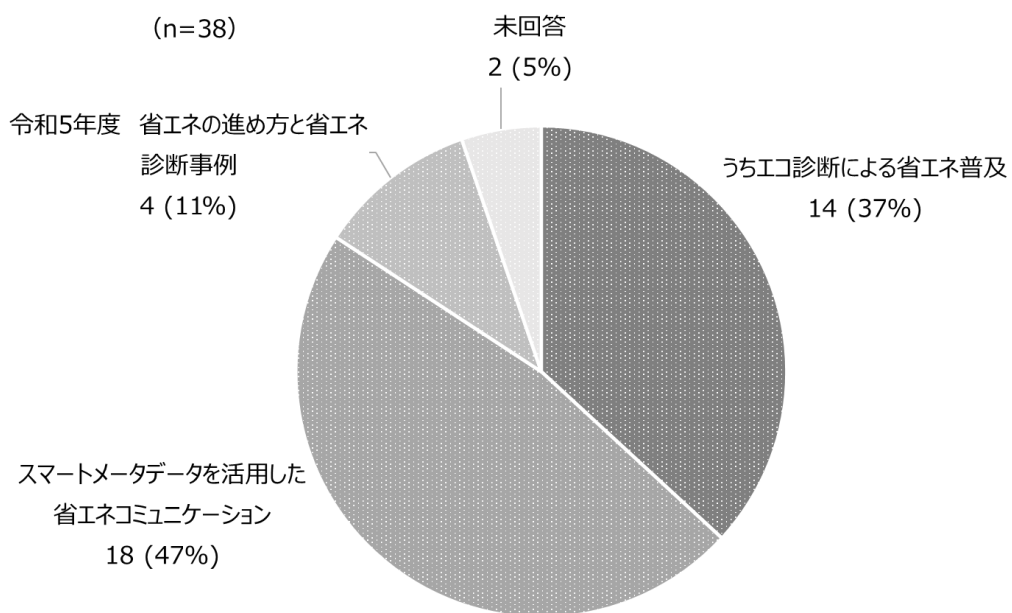
(満足度) 自治体



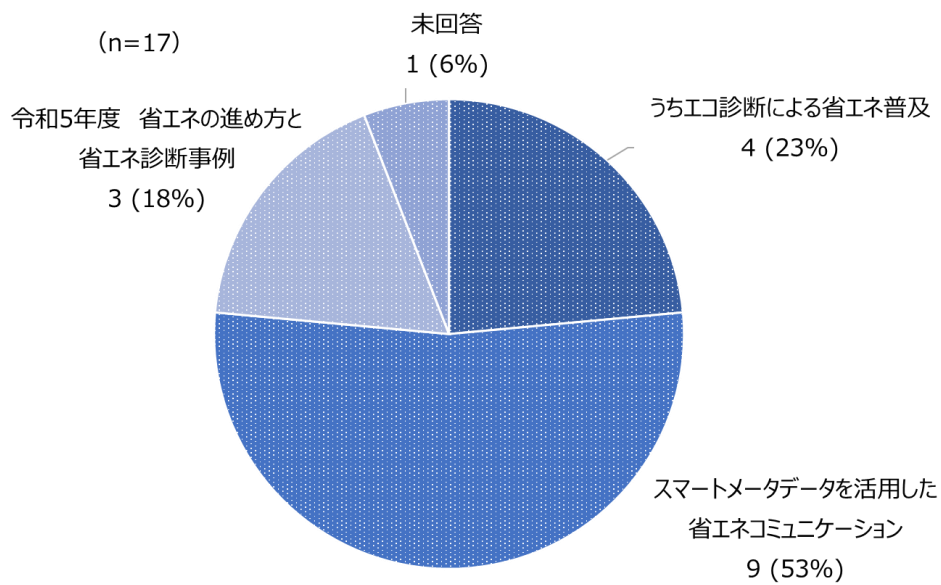
(満足度) 事業者・その他

3) 最も参考になった講演内容を選択してください。

- 全体の回答としては「スマートメーターデータを活用した省エネコミュニケーション」が最も多く、次いで「うちエコ診断による省エネ普及」が多かった。

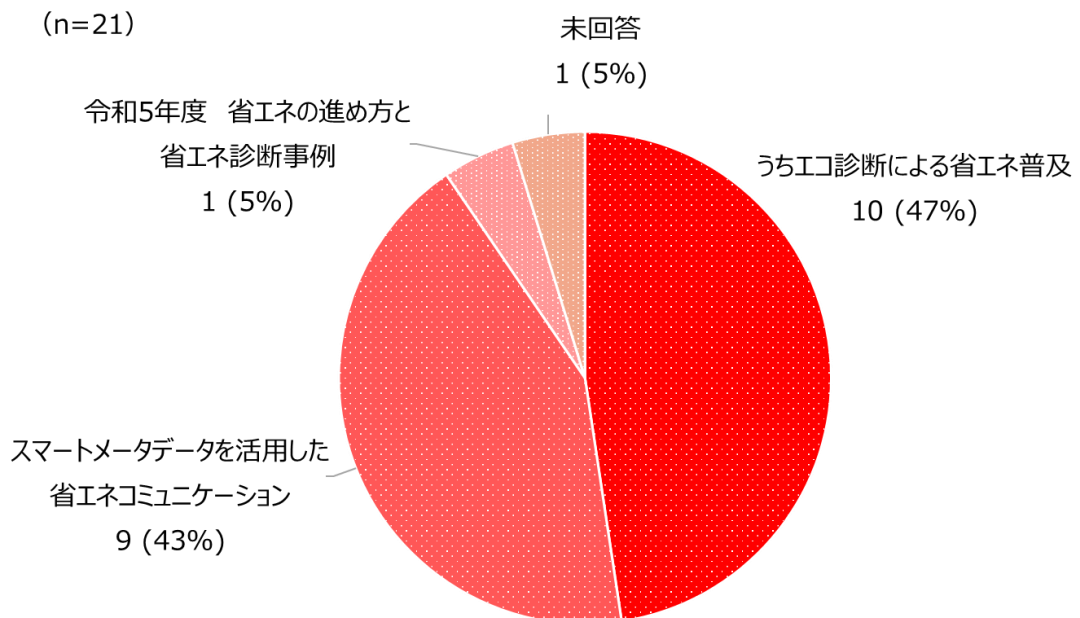


回答者：全体



回答者：自治体

- 自治体の回答では「スマートメータデータを活用した省エネコミュニケーション」が最も多かった。



回答者：事業者・その他

- 事業者・その他の回答では「うちエコ診断による省エネ普及」が最も多かった。

4) 今回の研究会で印象に残った内容などあれば教えてください。

- 建設業にはあまり関係がないと思いました。
- 備前グリーンエネルギー様の活動内容をお聞きしたい
- 専門家からの正しいメッセージであっても、伝える人や伝え方によってうまく伝わらないことが多かったことから、信頼関係の構築や、マネープランニングや医療といった他業種との組み合わせによる働きかけが必要であることが印象的であった。
- 今回は知らない事の勉強をたくさんさせて頂き、ありがとうございました。八木田さんのお話に興味を持ちました。幾ら立派な方が訪ねて来られて難しい話で説得されても応じず、近くの電気屋さんの高額な製品を買ったという話に大きくうなずきました。
- フィールドワークを並用したスマメのデータ研究が非常に面白かった
- 高齢者の方の住み替えについて。事業者として例えばイベントを開催し、促進できればと伺いながら感じました。
- 高齢者には説明やナッジが有効でない、というショックなようで納得のいく結論が興味深かったです。
- 短い時間で端的に省エネに関する知識が知れて良かったです。
- 高齢者の方の行動変容事例の話。割合の大きい高齢者、既築への省エネアプローチとしてためになる話だった。
- 個人個人の省エネ意識を高めることが重要。省エネツールをうまく活用することが重要。
- 自治体のゼロカーボンに対する姿勢に感心した。
- ・ゼロカーボンに向けて、省エネ診断することが第一歩目かつ重要と感じた。・省エネ診断する能力ある組織体を具体的に理解できた。
- うちエコ診断について名前だけは知っているような状況だったが、実物を見てみると、すごくよくできたアプリだと印象に残りました。
- 資料3全て。資料2→広報で活用できそうです。
- 東京エネルギー研究所 八木田様のお話でありました、誰がメッセージ（情報）をどう送るのかということですが、信頼できる人からの情報発信が最も効果的だと思いましたので、省エネの啓発をしていくにあたって今後工夫していけたらと思いました。
- プレゼントデザイン講師の方が、「消費者にはエコ・脱炭素の話をしなさい」という点。消費者、一般家庭が気になるのは費用面。
- 高齢者既築の省エネ提案の難しさ。送り手→受け手 誰がどう伝えるかが重要。抱き合わせサービス、エネルギー+α（銀行、FP、自治体、信頼できる人）※相続、資産家、空家問題も含めてはどうか？
- うちエコ診断を自治体が主導して各家庭が活用、実行に移せば相当量の削減効果が出ると感じました。各家庭への普及方法をどうするかがポイントだと感じました。

- うちエコ診断他余り個人的になじみのなかった事も参考になりました。
  - うちエコ診断は聞いたことがなかったが、自身の家庭で使用している電力、燃料を客観的に知ることができ、すぐにでも実行することができると感じた。
  - うちエコ診断の流れが分かりやすかった。
  - ガスのスマートメーターデータの活用方法を検討している。省エネ診断サービスには大変興味がある。
  - 特に「市民に向けた行動変容支援」に向けた「戦略」をいかに意味のあるものに仕上げていく必要性を感じました。川端さんや八木田さんの報告に共通していた「理念よりも成果」を重要視しなければ行政の役割は担えないと思いますし、小さな積み重ねの工夫を本研究会で形にしていければと期待しています。
  - ・省エネ診断に興味があったので診断事例が印象に残った。・省エネはガマンするのではなく（リフォーム等で）快適にすることで達成していくということ。
  - 家庭での省エネをテーマとして、提案・事例・省エネ効果状況である事がわかった。(BtoC)
  - エネルギー消費量が多かった家庭が、どのように削減できたのかの内容に驚きました。他にも例があれば教えていただきたいです。
  - 人に行動してもらうためには、メッセージだけではだめで、メッセージを「誰が」「どう送る」かが重要であること。
  - 既存の古い家屋の省エネのハードルは高く、先の短い高齢者にはできることからやってもらうことすら難しいと感じる。負担をかけずに気がついたら省エネというのは本当に理想だと思う。
  - 高齢者への省エネの案内について、興味深かったです。当市も高齢者、古い住宅が多いので何か対策していきたいです。
  - ターゲットに応じた情報発信の重要性について考えさせられました。
- 5) 今後の研究会で取り扱ってほしいテーマやその他、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。
- 特になし
  - 小規模企業の脱炭素への取組推進
  - ありがとうございました。
  - 今後も機会があれば岡山市の研究会へ参加させてください。
  - 岡山市の脱炭素施策における令和5年度重点取組と意見交換
  - 一般財団法人省エネルギーセンターは何を教えてくださいましたのでしょうか・・・
  - 自治体の脱炭素ビジョン
  - 自治体の方針、支援策
  - ・公共交通の利用促進・企業の脱炭素化への意識変容手法
  - 合理的な判断をする市民ばかりではないなかで、より実感を伴う「刺さる営業」を

自治体も学ぶ必要があるのかもしれませんがね。

- 中小企業の脱炭素経営
- ・各自治体のカーボンニュートラルへの考え方・取組紹介・CO2削減に向けた現状把握の次の展開の深掘り
- 太陽光発電所建設に係る地元住民との関係について。合意の形成や反対住民がいた場合どうするか？等
- 費用面のメリットと省エネ・脱炭素を1つにつなげることが重要。
- 引続き我々で出来る事に取り組みたいので家庭の省エネ（CO2削減）
- EV（電気自動車）の活用（シェアリング、BCP）について
- 脱炭素選考地域に選考された自治体さまの選考後の事前のロードマップとの相違について、応募の経緯について教えてほしいです。
- 当社が始めたEV導入ワンストップサービスについてPRしたい。
- 脱炭素を全面に打ち出さなくても結果的にゼロカーボンに寄与する仕組みを考えるための「先進事例の検討（または導入可能性を議論するWSなど）」
- アンケート結果をLIVEで出すことで岡山の現状がよくわかった。
- 企業や自治体が推進する内容をテーマにしてほしい。
- 農林業従事者向けの省エネ（ソーラーシェアリング以外の）
- 省エネ、再エネに関する最新の技術情報など